

松代工業(株)

殿

発行日： 2013年04月02日

整理No： 44F-04-003

協力工場 不良品連絡書

再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。

指定回答日： 2013年04月12日

承認	調査	担当
黒岩 13.4.02 映次	13.4.02 和義	13.4.02 和義

仕様番号 415CFX-007-30F

品名 2Pスピーカレセコンタクト

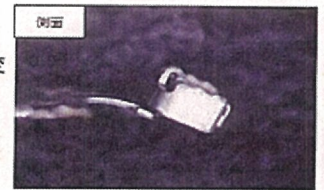
ロットNo 13.03.07-S1.V.0021,0023,0026

連絡受理日 2013/04/02 16:42:23

対象数量 40,000

不良内容 変形不良

客先にて『CNT到着確認センサ異常』でマシンが停止。
状態を確認した結果、コンタクトの変形があった。
コンタクトの変形は巻き終わりから6,000~7,000程度使用後に発生。
また、変形は1m程度の区間発生し、それ以降発生はなくなる。



1. 確認内容

- ①顧客提供サンプルの確認 → ご指摘の変形及び表面キズ有り
②加工履歴(4M)の確認 → 加工ライン・作業等 変更無し 又、異常履歴無し
③返却リール(右記2リール)の確認 → 同様の変形無し

返却品の処置(数量明記)

13.03.07-S1.V.0030(40K)
13.03.07-S1.V.0031(40K)
上記2リールをご返却頂き全長再検査を実施しましたが同様な変形は検出されませんでした。

2. 発生原因

ご指摘頂いた変形の方向が“メッキ工程進行方向に対し前後”に倒れているのではなく“横から押された”ように変形していることから、メッキライン中のどこかに接触して倒れた変形ではありませんでした。
その他の弊社工程にて変形発生の可能性が有る箇所として【製品駆動用ピンチローラー】が考えられたため再現テストとしてピンチローラーに製品全体が挟まれるように通過させて見ましたが同様な変形は再現出来ませんでした。但し、表面に微細な点キズが観察されましたが、不具合サンプルのキズとは明らかに違うモードでした。(通常はキャリア部のみ挟んでいるためキズは付きません)
以上調査の結果では、当該変形不良につきまして弊社工程にて発生する要因は検出出来ず、弊社以外の工程にて発生した変形と思われます。
大変恐縮ではございますが他工程につきましても再度ご調査頂きたくよろしくお願い申し上げます。

4. 流出原因



ご提供頂いた不具合サンプル観察にて製品のノッチ部からキャリア部にかけて“メッキ後に発生したと思われるキズ”が確認されました。当該キズが今回の“変形”の要因であると推測しますが、弊社工程ではこのようなキズは発生しません。

製品駆動用ピンチローラー
(流れている製品は他品種です)

実施日： 年 月 日

実施日： 年 月 日

在庫品仕掛品の確認

在庫品

仕掛品

無し

回答日： 2013年 4 月 8日

承認	調査	作成
小林	田中	長澤

標準類改訂 有・(無) ()

客先起因。為 有効性の評価はありません。



承認	調査	確認者

(株) 鈴木

Rev : A SQM-10010-4